



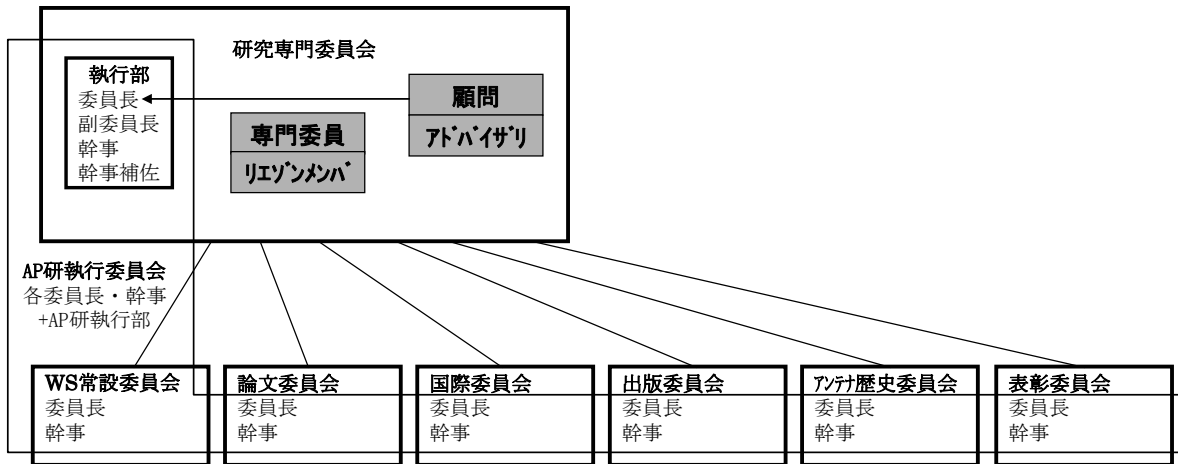
「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第27号をお届けします。今回は、AP研の組織体制、6月AP研開催時に実施した2007年度AP研表彰式、AP研アンテナ歴史委員会からの広報についてお知らせします。

【1】AP研組織体制

お知らせのNo. 25 / 2008年5月号に、執行部、各種委員会の人事を中心とした2008年度のAP研新体制について記載しました。今回は、AP研が実際に活動していく上での組織体制について、簡単に説明いたします。

AP研の最高議決機関は、毎年6月と12月に開催される専門委員会であり、この会議でAP研の方針や活動計画などが決定されます。そして、この方針に従って、様々な活動や行事などを実際に企画・運営していくのが執行部ですが、ますます活発になっていくAP研の幅広い活動を遂行していくには執行部の力だけでは不十分であり、それぞれの役目をもった6つの委員会で作業を分担しているという状況です。10年位前までは、これらをすべて執行部、実際には2人の幹事だけでやっていたわけですから、当時の幹事は大変だったと思います。つまり、これらの委員会を含めて執行部ということになるのでしょうか。こういった観点から、昨年度より、当該年度のAP研執行部、各委員会の委員長および幹事を中心としたAP研執行委員会を年に1度開催し、各委員会における審議事項およびその基本案に関する横断的な調整を行っています。その結果に沿って各委員会で具体的な実現方法を立案し、執行部案として専門委員会に提案します。これが専門委員会で認許されれば、それに基づいて執行部と各委員会で運営していくという体制です。言ってみれば、専門委員会が国会（立法）、執行部と各委員会が内閣（行政）ということになるのでしょうか。司法はありませんが、

お分かりいただけただでしょうか。今回から、順次、各委員会からの案内・活動紹介を掲載していきます。トップバッターはアンテナ歴史委員会です。



【2】2007年度 AP研表彰式

6月AP研究会開始前の時間帯に、下記のように、2007年度、および、2007年度下期の表彰式がありました。受賞された方、おめでとうございます。今後のご活躍を期待しています。詳細につきましては、AP研ホームページの「AP研奨励賞受賞者」からご覧いただけます。

記

- ・日時：2008年6月19日（木）12:40-13:10
- ・場所：機械振興会館地下3階2号室
- ・受賞者：2007年度最多発表賞（11回）
 - 新井 宏之（横浜国大）
 - : 2007年度下期学生奨励賞
 - 高橋 亜弥子（福井大）、池田 一樹（茨城大）

: 2007 年度下期若手奨励賞

有馬 卓司 (東京農工大), 太田 喜元 (ソフトバンク)

: 2007 年度功労賞

多数 (12 名) のため, 省略



唐沢, 新井, 堀



唐沢, 池田, 高橋, 堀



唐沢, 有馬, 太田, 堀

(敬称略)

【3】AP 研アンテナ歴史委員会からのお知らせ

AP 研アンテナ歴史委員会 (委員長: 塩川孝泰) は, 日本におけるアンテナに関する貴重な資料をデータベース化し, その資料を有効活用することを目的に2000年より活動を行っています. 2008年6月現在, 歴史委員会のデータベースには, 皆様より88件のアンテナが登録され, 38件が一般公開されています. 登録されましたアンテナは, ISAPなどの国際会議においてスライド形式で紹介されるなど, 広く公開されます. どなたでも, アンテナ資料の登録・閲覧が可能です. 資料をお持ちの方は是非登録してください. AP 研のホームページ <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/> から「歴史委員会ホームページ」にアクセスしてください.

A・P 研究会 歴史委員会からのお願い

歴史委員会では, アンテナ資料の収集を行っています!

- ・実在したアンテナはすべて登録可能です.
- ・新規資料の登録, および登録済資料の閲覧は「<http://ap.ei.tuat.ac.jp/>」より行えます.
- ・登録された資料は, 国際会議 ISAP 展示コーナーにおいてスライド形式で紹介.
- ・登録された資料は, 作成予定のアンテナ歴史年表で紹介されます.
- ・まだ登録されていないアンテナがありましたら, 是非ご登録ください.

なお, 登録には所定の審査があります.

<http://ap.ei.tuat.ac.jp/>

【4】AP 研副委員長の戯言

今回はお知らせ記事が豊富で, レイアウトがかなり窮屈になってしまいました. そのために見落とされた方もいらっしゃるかもしれませんが, 2007年度最多発表賞を受賞された新井先生の年間11回 (AP 研開催回数11回) の発表というのは, 大変な偉業というか快挙ですね. 毎月, 原稿を書き, スライドを作成し, 研究会で発表され, その上, 授業や研究までされているのですからね. しかも, 我々と違って, 街のネオンが灯っている時間帯は別件でお忙しいようですし..... 皆様も是非, この偉業を越えるべく, チャレンジしてみてください. 月1回のペースでは足りませんよ.



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋 (金沢工業大学)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org